

年 組 名前：

問1

民間シンクタンクの都道

府県別魅力度ランキング

調査で、山梨県の順位が

過去10年間で最も

高かったのは

①西暦何年の

②何位ですか。

① 年

② 位

問2

今回の調査で8年ぶりに

最下位を脱出した

都道府県はどこですか。

正しいものに○をつけて

ください。

[] ① 大阪府

[] ② 栃木県

[] ③ 北海道

[] ④ 茨城県

問3

あなたが山梨の魅力として誇れるものは何ですか。また、その理由も書いてください。

誇れるもの：

その理由：

民間シンクタンク「ブランド総合研究所」(東京)は14日、2020年の都道府県別魅力度ランキング調査を発表し、山梨県は27位で前回より4ランクダウンした。1位は12年連続で北海道。

山梨県は昨年8月、日本一のワイン産地であることをPRするため「ワイン県」を宣言するなど、魅力の発信に取り組んできたが、魅力度ランキングは下がる結果に。県観光振興課の担当者は「順位が落ちたことは真摯に受け止めた。調査を分析し、魅力度を高め、情報発信に努めていきたい」と話した。

山梨県の過去10年のランクで、最も順位が高かったのは11年の22位、低かったのは15年の36位。近年は17、18年がともに25位、19年が23位だった。都道府県別で2位は京都府、

山梨の魅力度 27位

昨年からダウン 首位は北海道

魅力度ランキング ※()内は昨年順位

都道府県	市区町村
1 (1) 北海道	1 (3) 京都市
2 (2) 京都	(1) 北海道函館市
3 (4) 沖縄	2 (2) 札幌市
4 (3) 東京	4 (6) 横浜市
5 (5) 神奈川	5 (4) 北海道小樽市
6 (6) 大阪	6 (5) 神戸市
7 (7) 奈良	7 (7) 神奈川県鎌倉市
8 (10) 長野	8 (8) 金沢市
9 (8) 福岡	9 (9) 北海道富良野市
10 (9) 石川	10 (10) 仙台市
27 (23) 山梨	

3位は沖縄県と続いた。7年連続最下位だった茨城県は42位で、8年ぶりに最下位を脱出した。茨城県は18年、情報発信を強化するため「プロモーション戦略チーム」を設置。若者向けに動画投稿サイト「ユーチューブ」で動画配信するなど、県産品のブランド化や観光誘致を推進した。最下位は栃木県だった。このほか市区町村別順位で、回答を得た。〈清水一士〉〈共同

3位は沖縄県と続いた。7年連続最下位だった茨城県は42位で、8年ぶりに最下位を脱出した。茨城県は18年、情報発信を強化するため「プロモーション戦略チーム」を設置。若者向けに動画投稿サイト「ユーチューブ」で動画配信するなど、県産品のブランド化や観光誘致を推進した。最下位は栃木県だった。このほか市区町村別順位で、回答を得た。〈清水一士〉〈共同

(2020年10月15日付 山梨日日新聞 22面)